

8 月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和 7 年 8 月 22 日（金）
開催時間	午前 10 時 00 分
開催場所	市役所本館 6 階 大会議室
出席委員	浦 上 教育長 水 野 教育長職務代理者 岩 井 委員 藤 井 委員 近 田 委員
出席職員	太田副教育長・塚本教育監・川添次長・田頭参事・牧野教育政策課長・山本学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・内藤学務給食課長・辻本教育センター所長・永澤生涯学習課長・山本桂青少年会館長・宮田安中青少年会館長

1 { 7 月定例会議録の承認 }

【浦上教育長】 皆さん、おはようございます。8 月定例教育委員会を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議録署名委員に、水野委員を指名しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

それでは、次第の 1、7 月定例教育委員会会議の議事録の承認につきまして、審議をいたします。

委員の皆様、何か質疑等ございますか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、7 月定例会会議録につきましては承認と決しました。

2 { 教育長及び教育委員の報告 }

【浦上教育長】 それでは、次第の 2、教育長及び教育委員の報告に移ります。

まず、教育長報告ですが、お手元の配付の資料のとおりです。

7 月 22日（火）	定例教育委員会
〃	うらさんの部屋①
7 月 23日（水）	令和 7 年度こども消費者教室（挨拶）
7 月 25日（金）	大阪府都市教育長協議会夏季研修会（第 1 日目）
7 月 26日（土）	曙川東地区世代を超えたふれあい祭り（曙川東小学校）
7 月 27日（日）	高安西小学校区住民懇談会（講演・高安西小学校）
7 月 28日（月）	こどもはあとサポーター発表会（青少年センター）
7 月 30日（水）	初任者研修（アクトランド八尾）
8 月 1 日（金）	美園小学校区学習会見学（久宝園公民館）
8 月 5 日（火）	部長会
〃	令和 7 年度第 1 回八尾市人権施策推進本部会議および男女共同参画 施策推進本部会議
8 月 6 日（水）	文教常任委員会 所管事務調査
8 月 7 日（木）	八尾市こどもサミット 2025(中学生)
〃	令和 7 年度八尾市精神保健福祉協議会常任理事会・総会
〃	うらさんの部屋②
8 月 8 日（金）	龍亀タートルズ綱引き大会優勝（市長表敬）
〃	第 63 回 消費者大会 2025（八尾市文化会館）
〃	紺綬褒章伝達式（野口夫妻）
8 月 10日（日）	ピースフェスタ八尾 2025（観覧・八尾市文化会館）
8 月 12日（火）	うらさんの部屋③
8 月 15日（金）	大阪府都市教育長協議会 8 月定例会（アウィーナ大阪）
〃	市町村教育委員会教育長・教職員人事主幹部課長臨時会議(アウィーナ大阪)
8 月 18日（月）	八尾市立小・中学校生活指導研究協議会主催事業「自然の中で」 （見学・曾爾高原）
8 月 19日（火）	珠洲市との交流事業（珠洲市）
8 月 20日（水）	〃

【浦上教育長】 私からの報告が 2 点あります。まず、1 点目ですが、八尾市立小・中学校生活指導研究協議会主催事業「自然の中で」に参加しました。これは、長年の取り組みであり、不登校など学校へ行きづらい子どもたちを支援するため、自然の中の活動を持って支援するものです。今回は、八尾市内小中学生 33 名の子どもたち、そして校長先生方も含めて引率の教職員約 40 名が参加されました。朝の 8 時 30 分頃に、成法中学校の正門前に集合されて、開会式が執り行われました。この事業は、様々な支援を頂戴しております八尾ロータリークラブに後援いただいております、その八尾ロータリークラブの会長を含めて 4 名の方も学校へお越しいただきましたので、冒頭にご挨拶いただき、小・中学校生活指導研究協議会の会長からも挨拶いただいた後、曾爾高原へ出発しました。こちらは、1 泊 2 日の行事となるのですが、私は教育委員会事務局職員数名と毎年、曾爾高原へ向かい、子どもたちを激励しております。子どもたちは、翌日に帰ってくることになるのですが、何のト

ラブルもなく、無事帰宅したと報告を聞いておりますので、この場を借りて皆様へお伝えさせていただきます。子どもたちは、とても頑張っていました。やはり、自然の中で自分達を落ち着かせる、癒す、そういったことが最も大切です。子ども自身が自らのことを考えていくことについて、この1泊2日の行事の中で考える機会になったかと思いますので、皆様へお伝えさせていただきました。

次に2点目、8月19日と20日の2日間、石川県の能登半島にある珠洲市へ私と副教育長、教育政策課長の3名で訪問しました。訪問理由は話せば長くなりますが、八尾ロータリークラブ65周年記念事業の中で、能登半島復興事業を応援しようという考えから、何かできないかということで、教育委員会へご相談いただきました。その結果、日本で唯一となる環境防災科を設置している神戸の舞子高校へ相談し、珠洲市の学校へ訪問いただき、出前授業をすることとなりました。その中で、一緒になって防災について考えようということになりました。以前、八尾ロータリークラブの方が、舞子高校の防災に関する授業を拝見され、とても感銘を受けたそうです。そのため、今回の出前授業に繋がったのですが、併せて「八尾市も現地に行き一緒に取り組みをしませんか」と八尾ロータリークラブから八尾市教育委員会へ依頼がありました。以前から、八尾市教育委員会でも、珠洲市の子どもたちへ何か支援できないかと考えておりましたので、タイミング良くご依頼いただいた本内容に協力しようということで、私と珠洲市の教育長で話し合い、今回の交流に至りました。どのような交流内容が望ましいのかを話し合った結果、能登半島は「キリコ太鼓」が盛んであり、八尾市も「こども河内太鼓」に取り組んでいることから、太鼓を通じた交流にしようということになりました。そのため、八尾市の子ども太鼓の方へ相談したところ、小中学生で11名、指導者3名、保護者3名の方が、私達と一緒にバスで珠洲市へ向かうこととなりました。実際の発表は、20日に行いましたが、珠洲市の市長や教育長もご参加いただき、本当に素晴らしい講演であったと思います。八尾市の子どもたちが、しっかりと太鼓を叩いて、見ている方々は本当に感動されていました。珠洲市と八尾市の子どもたちがお互いの太鼓の叩き方などを確認し合うなど、しっかりと交流をすることができました。

もう1点、皆様にお話ししたいことがあります。八尾市から珠洲市まで、バスで約8時間を要しました。現地は、もっと復旧しているかと思っていましたが、私が思っていたよりも復興は進んでおらず、車を運転するのも危険な状態であると感じる場面もありました。一刻も早く安全な日常を取り戻していただきたいと強く感じました。とても良い体験が出来た2日間でした。私からの報告は以上です。

それでは、委員の皆様方、この間の活動状況について何かあれば、ご報告お願いします。岩井委員どうぞ。

【岩井委員】 8月7日（木）、青少年センターで行われました、「八尾市子どもサミット2025～いじめ防止に一步ふみだそう～」に参加させていただきました。今回のサミットは、初めて金光八尾中学校も参加し、市内すべての中学校・義務教育学校、計16校から代表者2名が集まり、対面形式で行われました。日頃からリーダーとして、皆を引っ張っている生徒会の役員だけあって、代表の生徒たちは非常にしっかりされていて、「いじめのない学校にするために、今、自分たちにできることは何なのか」をよく考え、積極的に発言し、終始良い雰囲気、以前からの知り合いのように、交流を深めることができていた

ので、とても感心しました。この場で得た学びは、ぜひ各学校での取り組みに生かして、「いじめのない、誰もが元気で明るい学校」づくりを一層広げるよう行動して欲しいと思いますし、きっとやってくれるに違いないと、手応えを感じる素晴らしいサミットだったと思っております。また、八尾ロータリークラブ様から、八尾市子どもサミットの「横断幕」や「のぼり」、そして学校からの参加者への「お茶・おにぎり」の支給など、多大なご支援、お力添えを賜りまして、本当にありがたく思いました。生徒も非常に喜んでいたと思いました。心よりお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【水野委員】 私も、8月7日（木）に青少年センターで開催された「八尾市こどもサミット2025」に参加させていただきました。岩井委員の報告と重複するところは割愛させていただきますが、子どもたちの発言の中で印象的だったのが、「後先を考えよう」という発言でした。この発言が示すところは、いじめをするときに、大人の言葉で言うと「よく考えよう、今後それがどう影響するか考えよう」ということですが、大人であれば、なかなか出てこない、中学生ならではの、「後先を考えよう」という言葉に私は妙に感動しました。その他、印象に残った発言としては、「馬鹿にしない」「冷やかさない」という言葉でしたが、そういうこと言葉を教員が拾って、子どもたちへ返してあげることが大切だと思いました。この会は、本当に温かい雰囲気で、いつまでもこの場に居たいと感じました。大変勉強させていただきました、ありがとうございました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【近田委員】 先程、教育長から珠洲市の話がありましたので、その関連についてお話ししたいと思います。能登の地震が発生し、約1年8ヶ月が経過しましたが、私はおよそ月1回、2・3日ペースで、ボランティアに行っております。現地では、様々な行政機関や各種団体が、イベントなどを通して現地の方々を励ましたり、交流する機会を作っています。その他、日常的には、ボランティア活動が最も見えやすいと感じます。災害が起こった時には、現地に行き、イベントを開催する、もしくはボランティア活動で日常の困りごとに接することが、災害の復興に対しては、最も有益であると感じております。現地へ行けば、子ども大人に関わらず、ボランティア活動として、災害に合った泥まみれの家を掃除したり、疲弊している方へ対応し、感謝の言葉をいただき、自尊感情を高めることに繋げることができます。このように自己肯定感や自尊感情を高める場面に遭遇する機会は、めったにありません。そのような意味において、災害時には様々なイベントを企画し、それを実施していくという両輪で、有事の際には、被災地にボランティアとして参加できるような体制をサポートできる仕組みづくりを八尾市でも実現いただければと常々感じております。本日、浦上教育長の珠洲市へ訪問したという報告を受けましたので、せっかくの機会と思い、報告させていただきました。私からの報告は以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ないようであれば、次に進ませていただきます。

5 {その他}

【教育長】 それでは次第の 3、その他についてですが、事務局から何かございませんか。

【事務局】 ありません。

【浦上教育長】 ないようですので、以上をもちまして、8月の定例教育委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。